

# で あ い こ う か

チーム力で全国5位、笑顔のラストラン  
水口中学校陸上部

- 1走 橋 海さん
- 2走 吉川 湧人さん
- 3走 土川 晃史さん
- 4走 中川 修汰さん

8月17日～20日、香川県で開催された第41回全日本中学校陸上競技選手権大会の男子4×100mリレーで、水口中学校陸上部チームが5位に入賞しました。

中学校生活最後の暑い夏を、全力で走り切った4人にお話を伺いました。



## ■全国の舞台で戦った感想は

- 橋 他県の強い選手と走れて良い経験になりました。緊張せずに楽しむことができました。
- 吉川 楽しく走りましたが、トップレベルの選手とはまだまだ力の差、格の違いを感じました。
- 土川 全国大会の高いレベルを経験でき、とても勉強になりました。
- 中川 全国5位という実感はありません。周りは体格の大きな選手ばかりで圧倒されました。

## ■準決勝でベストタイム、決勝で順位を上げる

準決勝でチームベストの43秒33を記録。全体の7位で進んだ決勝では5位へと順位を上げ、勝負強さを見せた水中チーム。レース前「あとで笑顔でおおう。バイバイ!」と約束したとおり、4人が楽しみながらバトンをつなぎ、笑顔のゴールとなりました。

## ■「エース不在」それがスゴイ

この4人なら日本一も目指せると、3年間彼らを指導してきた赤尾監督も、教え子の活躍を称えました。

「全国の決勝に残る強豪チームには、必ず“エース”の選手がいるものですが、うちには個人記録で全国レベルの選手はいない。それでも4人のチーム力で掴み取った全国5位。本当によくやったと思います。」



▲表彰式で喜びあう水中チーム

取材中もチームワークの良さを見せる4人。仲間と遂げた確かな充実感が、さわやかな笑顔の向こうに感じられました。

## 防火啓発に鼓笛隊セットを寄贈

甲南幼稚園 幼年消防クラブ

甲南幼稚園で9月9日、鼓笛隊セットの寄贈式が行われました。

宝くじの助成金を受けた甲賀幼少年女性防火委員会が、シンバルやカスタネットなど鼓笛隊セット一式を整備し、幼年消防クラブの活動に取り組み同園に寄贈したものです。

ピカピカの楽器を目にした園児らは嬉しそうに楽器を眺め、大きな声でお礼の言葉を言いました。

今後は、幼年消防クラブの活動をはじめ各種園行事で使われ、園児らの防火啓発に役立てられます。



▲園児に贈られたピカピカの楽器

## 水源の森で自然体験

上下流連携による森づくりの集い

琵琶湖淀川水系の上流と下流の住民が林業体験を通じて交流する「上下流連携による森づくりの集い」がこのほど甲賀町神地先の山林で行われました。

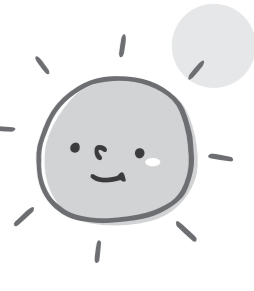
この事業は甲賀愛林クラブが主催し今年で10年目となります。

下流域にあたる大阪府豊中市の親子連れや甲賀市民約120人が参加し、皮剥ぎ間伐などを体験。椎茸狩りや手裏剣投げなども楽しみ、昼食には、おにぎりや焼き椎茸を味わいました。また、お土産にカブト虫が贈られるなど、水源の森で過ごす思い出の一日になりました。



▲皮剥ぎ間伐を体験する参加者

# 元気なまちかど



## 生き方や働き方を熱く語り合う

ビジネススタディカフェ

水口ローターアクトクラブ主催の「ビジネススタディカフェ」が8月24日、サントピア水口で開催されました。  
企業経営者など地域社会で活動する人と若者が、生き方や働き方について自由に話し合える場として企画され、社会人や大学生に混じり高校生も参加しました。  
起業や就職への不安を打ち明けた学生に、起業家がチャレンジ精神の大切さを語りかける場面も見られるなど、熱く活発な意見交換が行われました。



▲笑いあり、真剣な表情ありの意見交換

## 地震の激しい揺れを体感

小原小学校防災訓練

防災週間の9月2日、小原小学校で地震を想定した防災訓練が行われました。  
この日は地震体験車が準備され、児童らは「頭を守る」「机の脚につかまる」など、指導にあたった消防署員から事前に教わった注意事項を守りながら、兵庫県南部地震など実際に起こった激しい揺れを体感しました。  
終了後には「こんなに強い地震があるなんてびっくりした」「落ち着いて行動することが大切と感じた」などの感想が聞かれ、防災について改めて考える機会となりました。



▲机の脚につかまり揺れに耐える児童

## スマホの基本を学ぶ

公民館スマートフォン講座

市内5カ所の中央公民館で「スマートフォン講座」が開かれました。  
近年急速に普及したスマートフォンですが、使い方や従来の携帯電話との違いに疑問や不安を感じる方が多いことから今回の講座が企画され、60歳代を中心に最高齢85歳の方まで全体およそ100人が受講しました。  
受講生はメールやアプリを体験したり、隣同士で電話をかけ合おうちに、タッチパネルの操作にも徐々に慣れた様子で指を動かしていました。



▲講師の指導を受けながらスマートフォンを操作する受講生